

国立国語研究所学術情報リポジトリ

日本の多言語化と言語景観：
言語景観のメッセージを読み解く

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-06-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 福永, 由佳 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00003370

日本の多言語化と言語景観

—言語景観のメッセージを読み解く—

福永 由佳 (国立国語研究所・日本語教育研究領域)

本発表の趣旨


ここ10数年あまりの間に、私たちが目にする言語景観は劇的に変化した。特に、英語以外のことばによる多言語表示が増えている。2020年の東京オリンピックを前に多言語表示は「国際化」という観点から注目されているが、本発表では日本の多民族・多言語化という観点から検討する。多言語景観の事例から、どのような情報が誰からどのような言語によって発信され、そこからどのような意識や関係性が読み取れるのかを考える。

言語景観とは

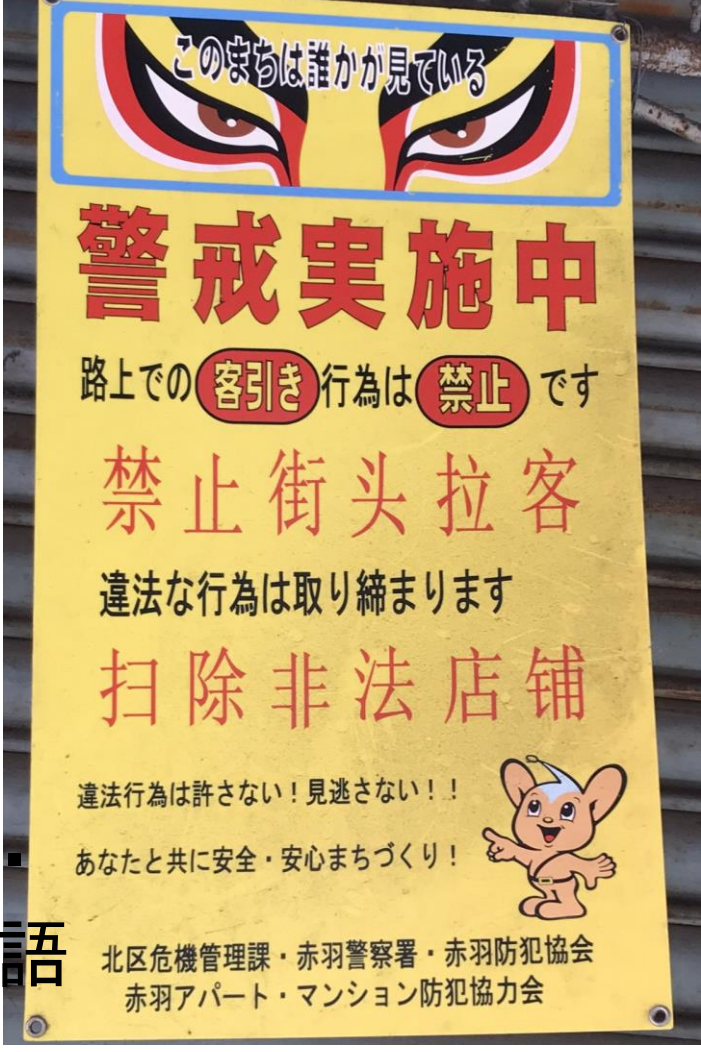
●言語景観 (linguistic landscape) とは「公共空間で目にする書きことば」
言語学の一分野で、さまざまな研究が世界中で行われてきた。日本でも新宿の店名看板を対象とした「新宿の都市言語景観」調査(正井1972)を端緒として、多くの研究がある。

- 多言語表示の分類(庄司2012)
 - ①表示物の形態: 看板、ちらし、ポスター、地図など
 - ②メッセージの内容: 社名・施設名、広告、利用案内、道路・地名、注意・警告など
 - ③設置場所: 道路、公共施設内、店内、車両など
 - ④使用言語種: 日本語、英語、韓国・朝鮮語、中国語など
 - ⑤情報の送り手・受け手: 日本人から、外国人から


多言語表示の事例 1 : 日本人からの発信



1) 案内標識
場所案内
駅構内
日本語・英語・中国語・韓国語
交通機関



3) ポスター
注意・警告
繁華街道路
日本語・中国語
警察・地域住民



2) 案内標識
場所案内
百貨店内
日本語・英語・中国語・韓国語・アラビア語
商業施設

多言語表示の事例 2 : 外国人からの発信



4) 看板
商品・営業案内
店舗前路上
英語・ベンガル語・ヒンディー語・ミャンマー語
ハラル食品店



5) 案内
特別メニュー
店内
英語・ウルドゥー語
パキスタンレストラン



6) 看板
営業案内
店舗前路上
中国語・日本語
美容院

“パキスタンストリート”の言語景観

●“パキスタンストリート”
富山県射水市の国道8号線沿いに形成されたパキスタン人中古車貿易業の集積地一帯。さらに、パキスタン人コミュニティの成立に不可欠なモスクや食材店やレストランもある。



“パキスタンストリート”の言語景観の構成要素

看板の種類	設置者	私的・公的の別	使用言語種
a) 中古車貿易業の店名看板	パキスタン人	私的	日本語、英語、ロシア語
b) 富山モスクの正面看板	パキスタン人	私的	日本語、英語、アラビア語
c) 禁止・注意喚起看板	日本人	私的、公的	日本語、英語、ロシア語、ウルドゥー語

福永 (2016 : 146)

パキスタン人が設置した看板



a) 中古車貿易業の店名看板
英語・日本語・ロシア語
私的(中古車貿易業者)



b) 富山モスクの正面看板
アラビア語・日本語(かたかな)
私的(宗教団体)

日本人が設置した看板



c-1) 看板
注意・警告
田畑
ロシア語・ウルドゥー語・英語・日本語
公的(行政・警察)



c-2) 看板
警告
田畑
英語・日本語
私的(地域住民)

考察—“パキスタンストリート”の多言語景観から読み取れること

- パキスタン人の表示には、民族性を表象する言語が使われていない。宗教語としてのアラビア語にもカタカナが併記されている。
⇒日本人に生じた警戒心や反発感を軽減し、この地域の一員として承認されたいというパキスタン人からのメッセージ
- 日本人の警告・注意表示からは、パキスタン人との軋轢を意識する日本人の意識が読み取れる。
- パキスタンストリートの多言語景観は、パキスタン人側からの承認要求と日本人側からの排除との葛藤の一断面を示す。

【参考文献】庄司博 (2012) 「多言語化と言語景観—言語景観からなにがみえるか」庄司博/P・バックハウス/F・クルマス編『日本の言語景観』pp.17-32, 三才社、正井泰夫 (1972) 『東京の生活地図』時事通信社、福永由佳 (2016) 「『パキスタンストリート』の多言語景観—承認、排除、そして共存へ」『ことばと社会』pp.143-151